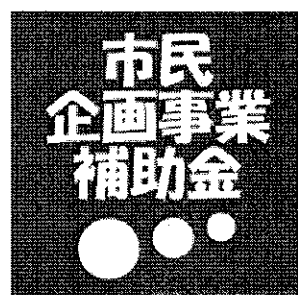


平成23年度
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市

平成24年7月

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	審査委員会委員長講評	3
4	交付事業一覧表	4
5	事業成果報告	5
	(1) DV被害者や女性であるが故の問題を抱える女性の支援	6
	(2) ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために	8
	(3) あなたが行動するための「認知症講座」	10
	(4) わくわくキッズ料理教室	12
	(5) 子育てママのための学び場〈一步踏み出して未来の私につながろう〉	14
	(6) 幼少児童との「防火ふれあい会」	16
	(7) 滝山 森のようちえん	18
	(8) わら細工文化と技術の伝承	20
	(9) 在宅医療を主題とする活動の普及事業	22
	(10) 親子で楽しむ陶芸教室	24
	(11) 楽しい介護予防の音楽セミナー	26
	(12) 浅川流域の野鳥保護に関する啓発事業	28
	(13) 高齢者向け出張箱庭体験事業	30
	(14) 体験ものづくり応援隊	32
	(15) 豊かなつながり「まめっこ」流子育て	34
	(16) 大人の女性のゼミ～私らしくあるためのヒントがいっぱい夢を実現する とっておきスペシャルプログラム～	36
	(17) 音楽療法による教育・子育て・地域支援事業2011	38
	(18) いきいきわくわく計算大会	40
	(19) 八王子現代家具工芸学校	42
	(20) 里親制度を正しく知ってもらうための活動	44
	(21) 地球冒険学校交流セミナー	46
	(22) デイジー図書館の作製	48
6	成果報告会アンケート結果	50
7	交付団体連絡先一覧	58

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、すでに公益的な活動に取り組んでいる、又はこれから取り組もうとする団体の活動を紹介するために要する経費の補助をします。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、市民企画事業補助金審査委員会により、応募書類に基づく書類審査、及び公開プレゼンテーション(事業実施部門についてのみ)を行うほか、継続事業については、前年度事業の進捗状況の内容も参考にした上で審査します。

また、審査委員会での審査に先立ち、応募事業の内容に関連する担当部による、面接等での応募書類の確認や事業内容の評価を行い、審査委員会での審査では、その結果やプレゼンテーションでの市民コメントも参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当部による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
審査委員審査	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ 本概要は23年度の概要であり、今後変更される可能性があります。

詳細は市のホームページをご覧ください。

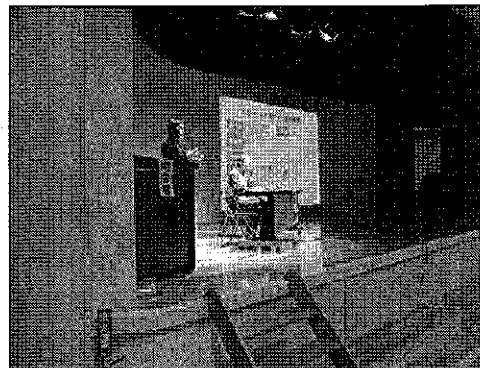
市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

2 事業成果報告等の経過

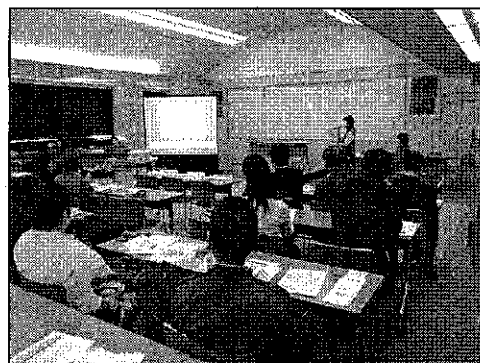
(1) 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成23年2月5日(土)
13:30~18:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 参加団体 19団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、審査委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



(2) 情報交換会

- 日 時 平成23年11月16日(水)
13:30~16:15
- 場 所 教育センター 大会議室、第1・第2研修室
- 参加団体 15団体
- 団体の抱える問題点の共有や、その解決の糸口を探るため、補助金交付を受けた各団体が一同に会し、情報交換を行いました。



(3) 成果報告会

- 日 時 平成24年5月26日(土)
13:00~17:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 報告団体 22団体
- 平成23年度に補助金を受け、実施された事業について、審査委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会

委員長 首都大学東京都市教養学部教授 和田清美

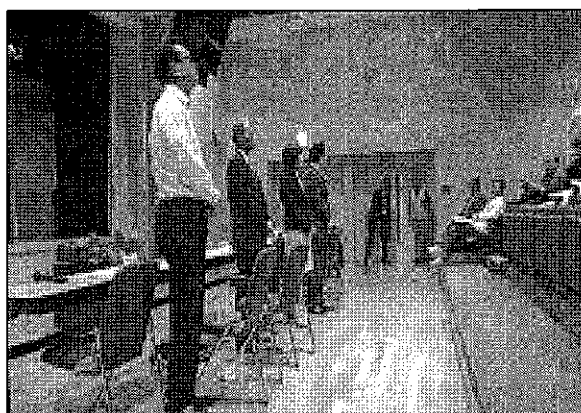
平成23年度市民企画事業補助金交付事業の成果報告会が、去る5月26日（土）午後1時より、北野市民センターにおいて開催されました。今年度は、活動支援部門11事業、事業実施部門11事業の合計22事業の報告をいただきました。それぞれに、成果をわかりやすく伝えようという工夫が見られ、またパフォーマンスを披露していただいた団体もありました。いずれの報告も簡潔かつ要領よくまとめられ、予定されていた時間内にすべての団体の報告を終えることが出来、参加団体の皆様のご協力に対し心よりお礼申し上げます。では、以下、審査委員を代表して講評を述べさせていただきます。

全体として、本年度の活動支援部門ならびに事業実施部門の活動・事業は、成果があったと評価できます。具体的には、会員数ならびに活動・事業依頼数の増加、活動・事業への参加人数の増加などが示され、その成果が報告されました。このような活動・事業の拡大・発展は本補助金の目的に適った成果であり大変喜ばしく、審査委員一同大変うれしく受け止めました。

一方で、同様に本補助金の目的である自立した活動・事業の運営には、補助金が終了した後も事業を継続していけるよう長期的視野に立ち、自主財源確保を始めとした組織基盤の強化が不可欠であります。この点、団体の皆様においては、本補助金交付による活動・事業の成果を十分活かしていただきますことを、審査委員一同強く希望いたします。

さて、今後の活動・事業の発展・拡大に関し、本年度の成果報告で審査委員一同が持った印象として、それぞれの活動・事業が一団体のなかで完結しており、他団体との「連携」という視点に欠けるケースが散見されたという点が挙げられます。同じ活動分野や他分野の活動団体、さらには関係諸機関と連携し、協力することにより、様々な面で相乗効果が期待できます。特に、町会・自治会をはじめとした地縁団体および関連する関係諸機関との連携の必要性は、多くの団体に言及できる点であると考えます。残念な事ではありますが、当日に成果報告に参加された団体の間でさえ、交流が十分には無いという事も、報告や質疑応答を通じて感じた所であります。本補助金交付団体の情報交換会や、本成果報告会などを積極的に活用していただき、他団体との連携・協力への一歩としていただきたいと思います。また、市の広報を始めとして様々な広報媒体を積極的に活用していただき、自団体の情報発信と、同時に他団体の情報収集を要望いたします。ほか、連携を深めるという点においては、市の協働推進課や、市民活動支援センターの活用も大いに視野に入れて頂きたいと思えます。

では、以上をもって、講評を終えますが、参加団体の皆様には、この1年間の成果を、単年度で留めることなく今後の活動・事業に繋げていただきますことを祈念いたします。



成果報告会における審査委員挨拶の様子

4 交付事業一覧表

(単位 円)

部門	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	新	DV被害者や女性であるが故の問題を抱える女性の支援	74,190	62,000
	新	ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために	101,672	100,000
	新	あなたが行動するための「認知症講座」	124,260	100,000
	新	わくわくキッズ料理教室	104,048	100,000
	新	子育てママのための学び場 〈一歩踏み出して未来の私になろう〉	120,377	100,000
	②	幼少児童との「防火ふれあい会」	124,337	100,000
	②	滝山 森のようちえん	354,773	100,000
	②	わら細工文化と技術の伝承	177,030	100,000
	②	在宅医療を主題とする活動の普及事業	152,602	100,000
	②	親子で楽しむ陶芸教室	125,000	100,000
	②	楽しい介護予防の音楽セミナー	324,824	100,000
		小計	1,783,113	1,062,000
事業実施部門	新	浅川流域の野鳥保護に関する啓発事業	974,663	487,000
	新	高齢者向け出張箱庭体験事業	208,130	100,000
	新	体験ものづくり応援隊	601,102	300,000
	新	豊かなつながり『まめっこ』流子育て	1,417,905	708,000
	②	大人の女性のゼミ～私らしくあるためのヒントがいっぱい 夢を実現する っておきスペシャルプログラム～	420,544	140,000
	②	音楽療法による教育・子育て・地域支援事業2011	104,643	34,000
	②	いきいきわくわく計算大会	263,873	80,000
	②	八王子現代家具工芸学校	2,693,002	600,000
	②	里親制度を正しく知ってもらうための活動	94,240	31,000
	③	地球冒険学校交流セミナー	860,520	269,000
	③	デイジー図書の作製	154,000	47,000
		小計	7,792,622	2,796,000
		総計	9,575,735	3,858,000

5 事業成果報告

(1) DV被害者や女性であるが故の問題を抱える女性の支援	6
(2) ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために	8
(3) あなたが行動するための「認知症講座」	10
(4) わくわくキッズ料理教室	12
(5) 子育てママのための学び場〈一歩踏み出して未来の私につながろう〉	14
(6) 幼少児童との「防火ふれあい会」	16
(7) 滝山 森のようちえん	18
(8) わら細工文化と技術の伝承	20
(9) 在宅医療を主題とする活動の普及事業	22
(10) 親子で楽しむ陶芸教室	24
(11) 楽しい介護予防の音楽セミナー	26
(12) 浅川流域の野鳥保護に関する啓発事業	28
(13) 高齢者向け出張箱庭体験事業	30
(14) 体験ものづくり応援隊	32
(15) 豊かなつながり「まめっこ」流子育て	34
(16) 大人の女性のゼミ ～私らしくあるためのヒントがいっぱい 夢を実現する とっておきスペシャルプログラム～	36
(17) 音楽療法による教育・子育て・地域支援事業2011	38
(18) いきいきわくわく計算大会	40
(19) 八王子現代家具工芸学校	42
(20) 里親制度を正しく知ってもらうための活動	44
(21) 地球冒険学校交流セミナー	46
(22) デイジー図書館の作製	48

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 会の性格上多人数参加ではないが、今年度は市民企画事業補助金交付団体になったことから、「いっぼの会」の活動情報が広がり、少しずつではあったが、参加者が増加した。 会場が今まで使っていた仕切り壁一重の部屋と違い、明るくて広い部屋を使用できるため、参加者に安心して開放的な気持ちで参加していただけた。 一年間の状況を傾向的にみると、明らかにDVなど被害を受けているにもかかわらず、閉鎖的な環境の中で「自分が悪いからかも」と思い自分を責めていて、今起きていることを自覚できない人が、会に出たことで前向きになった。DV等、被害を受けて近隣、親子、友人などとの関係の取り方がわからなくなっていた人が、距離の取り方、対応の仕方がわかり気持ちが楽になって対人関係がしやすくなった。身体的な暴力のほか、生活費を渡してもらえない経済的な不安を抱えたり、夫が浮気をしていて家庭生活に責任を持たないため一人で子どもを育てていたり厳しい環境に置かれている人などの参加があり今後を考えてもらえる場になった。 働いていて参加しにくい中、短時間でも参加したかったと駆け込んできた人、やっと空いた時間ができたとしばらくぶりに参加してくれた人がいた。「いっぼの会」でDVの話や相談ができることを夫が知って、夫婦関係に変化があったとの電話もあった。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	会の存在が大きな安心の場になっているのを感じる。参加者も男女共同参画課、市民企画事業補助金対象と公的な支援を受けている会だと安心感を持ってもらえて進めやすかった。会を進めるわたしたちもいろいろな話を聞きながら被害者と向き合うことで、教えられ学ぶことが多く、一歩ずつ前進できてきたと思う。またこうした活動が見えることでDVや女性の問題を抱える人への社会の理解が広がってきていると思う。
今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 決まった時間に必ず「いっぼの会」を開催していることがとても大事だと痛感させられる。プライバシー保護に留意しながら、安心して話ができる場を継続したい。 情報が届きにくい人に伝える工夫をしていきたい。 会費が上げられないので、運営の中で、資金面での工夫をしていきたい。 	

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	ふれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために		
団体名	特定非営利活動法人Pulemyuふれみゅう		
事業費	101,672円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>音楽療法的活動の効果の説明する際に、参加したことのない人に理解をうながすことは非常に難しい。音楽という芸術活動であること、聴覚刺激の活動であること、などがあいまいさとわかりにくさを作り出していると思われる。このことは、音楽が療法的に活用する際に無意識のレベルではたらきかけうることも関連していると思われる。</p> <p>今回は、視覚の広報資材を作ることで、このあいまいさとわかりにくさをかたちあるものにし、理解しやすいものにするを旨とした。</p>
	<p>内容</p> <p>当団体の活動を記録・編集して、DVDによる視覚資料作成をすることと、それに付随して紙面でのリーフレットを作成した。</p>

事業の活動実績	<p>まず最初に、当法人の広報したい点や、特徴を団体内で検討吟味し、資料を作成した。震災の影響で、この作業の開始が遅れ、また、実際の法人の活動も昨年度はイベントが中止や延期となる、会場の使用ができないなどで、資料データの収集が遅れた。</p> <p>それらをもとに、DVDの録画と編集については、録画編集を依頼した。録画する媒体活動は、われわれが実施し、その際にも広報として伝えるべき点や伝え方などを教えていただいた。また、資料となるリーフレットのデザインを専門の方に依頼し、作成した。</p> <p>内容としては、当法人のpulemyu(ふれみゅう：造語)説明として、play, present, pure music の3本柱を活動の内容に沿って説明した。今後は、これをもとに 広報活動へとつなげていく。市内の福祉施設や養育施設を中心として配布または持参しての広報を計画中である。</p> <p>リーフレット 2000枚 DVD 200枚 作成</p>
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>当法人の活動や特徴を、わかりやすくまとめることが今回最も必要とされることであったが、編集者の視点で御意見等をいただくことで、伝えるべき点や効果的な伝え方などが発見でき、今後広報する際にも アピールしやすくなったと感じている。</p> <p>リーフレットも法人の特徴が感じられるまとめかたで、DVDも効果的なシーンにより、とても完成度が高いと感じている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 震災の影響で、法人内スタッフでリーフレットデータを作成および印刷することが難しいことがわかり、依頼することになった。そのため、用紙代等は依頼社にまとめて支払いした。
	その他、評価すべき点等	予定では駐車場を計上していたが、自己負担とした。また、当法人への信頼から、本来の支払金額よりも破格の金額で編集作業等をお引き受けいただくことができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

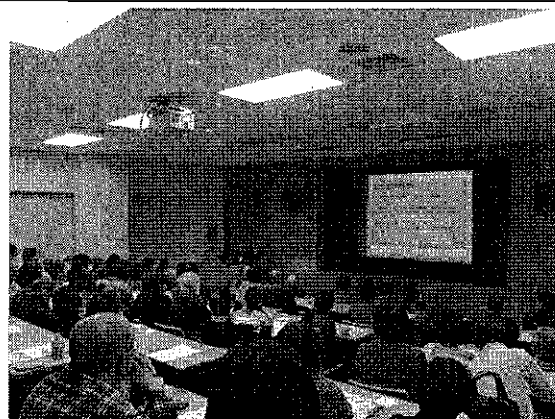
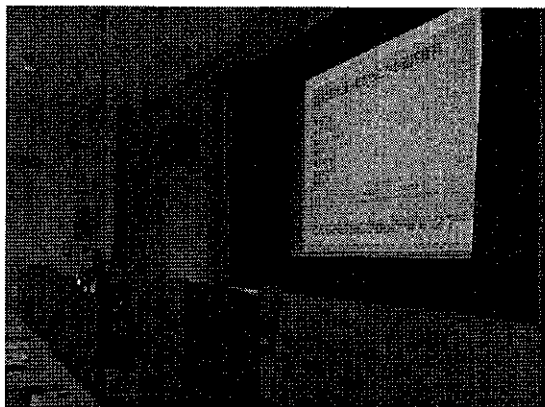
今後の事業展開	<p>今後、当法人の活動説明は、DVD等視覚情報を使用することでわかりやすく、紙面のみでは伝えきれない面が伝わると考えている。これを持参あるいは郵送にて提供し、ゆくゆくは参加者が増えていき自立運営の方向へと進めることを期待している。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	あなたが行動するための「認知症講座」		
団体名	八王子・認知症の正しい理解と予防の会		
事業費	124,260円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的：リスクを知り、いまから自分にできることを行動に移す</p> <p>これまで行政機関や書籍、講習会等で認知症はだんだん周知されてきました。しかし、残念ながら実際に行動を起こすための後押しにはなっていません。「認知症になったらどうしよう…」という不安を抱えながら一歩を踏み出せない。それは認知症になった時のリスクが部分的にしか見えていないことが原因です。</p> <p>(予防) 生活にすぐ取り入れられる情報を知り、リスクを遠ざけることができます。</p> <p>(対策) ①早期受診やサポート支援等、専門機関につながる心構えができます。 ②家族や身近な人と認知症を具体的に話し合うきっかけとなります。</p>
	<p>内容：認知症の現実を知るための講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症をとりまく現状を、専門家（現場の声）から話を聴きます。 ・ 病気の知識を多面的（医療・介護・予防・支援）に見ていきます。 ・ 社会問題化している事例を具体的に知り「自分だったらどうするか」「地域社会の一員として何ができるのか」を考えていきます。

事業の活動実績	<p>2011年3月11日の東日本大震災では多くの認知症の方たちも被災されました。専門家による認知症の方への緊急対応マニュアルも作成され、講座の講師候補の方も多忙となり、別の講師を模索することになりました。</p>
	<p>【活動の経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の宣伝チラシ配布（5月）図書館、クリエイトホールなど。 ・ 講師候補者との相談はじまる（7月）→ 断念 → 講師の予定と会場確保が折り合わず。 ・ 講師決定（9月後半）1月開催に向けての準備はじまる。 ・ 講座の宣伝チラシ配布（10月）市役所、図書館、クリエイトホールなど。 ・ 年末にポスター&チラシ完成。 ・ 年明けから、各市民センター、健康福祉センター、市内図書館他に配布依頼。 ・ 各包括支援センターに勝手ながら送付。 ・ 株式会社エーザイ様に、認知症啓発パンフレットの提供をお願いしご快諾いただきました。 ・ 講座実施（1月28日）



事業の成果・効果	<p>2012年1月28日(土)あなたが行動するための「認知症講座」開催。</p> <p>参加者：61名(定員70名)</p> <p>講師：中澤まゆみさん(ノンフィクション・ライター)</p> <p>「おひとりさまの終活 - 自分らしい老後と最期の準備」の著者。</p> <p>知人の女性を任意後見している中澤さんの実体験をもとに、私たちが知っておきたい認知症についてポイントを押さえながら、丁寧なレジュメを参考に具体的に学ぶことができました。</p> <p>《参加者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー型認知症と診断されて7年以上経過しているご本人が、数ある認知症の講座の中でも非常にわかりやすい内容だと感想を述べられ、私たちも励まされる場面がありました。 ・「次回はいつごろですか?ぜひ参加したい」と、終了後すぐにお声をいただきました。 ・パワーポイントを使う関係上どうしても薄暗くなるので、眠くならないような配慮が欲しいというお声もあり、次回からは参加型の内容も企画したいと思います。 <p>《アンケート》</p> <p>今後の活動のためアンケートを重視しお願いをいたしました。61名中47名もの方がご協力くださいました。高齢者の皆さまがどのように認知症に対して不安を抱き、また情報を得たいと思っているのかが同えます。多くの方が「あなたが行動するための一歩が1つでも見つかりましたか?」という問いに○をつけてくださいました。また、具体的に何を知りたいのかという項目からも、幅広く知識を得たいという状況が見えてきます。</p> <p>機会があれば講座の内容を含め、アンケートの集計結果も公表できればと考えております。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>講師の方の予定と会場の確保が折り合わず、講師が決定するまで非常に苦労しました。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>はじめての講座開催で、イメージしていた流れと経費は一致せず、対象経費として計上できない費用も出ることを念頭に入れなければと感じました。より良い内容を提供したいと欲張ったせいもありますが、振り返れば「ここは減らせる」という部分も見えてきました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>講座を開催したことで参加者のニーズがよくわかりました。また、提供するレジュメも経費より見やすさ(後から振り返るときに参考になる保存版)を目指したことで、それをもとにまた講座が企画できるようなものになりました。内容も良く講師の方のおかげです。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

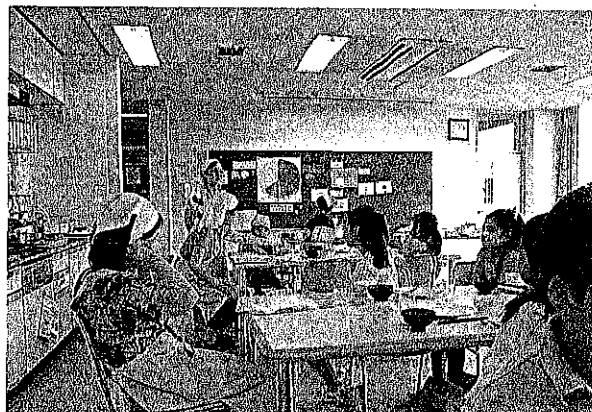
今後の事業展開	<p>超高齢社会と少子化。支える社会が虚弱した中で、今後増えていく認知症の人々はどうやって生活をしていくかは非常に大きな課題です。まずは、事務局の運営スタッフを増やすことが先決ですが(団塊の世代の方々に関心をもっといただけるような企画(内容)を当初は考えておりました)、お元気な高齢者の方々にもう少しご協力いただき、講座の回数をできるだけ増やしたいと考えております。そう感じざるを得ない切実な状況も見えてきました。微力ながら地道に活動を広げていければと思っております。本当にありがとうございました。</p>
---------	---

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	わくわくキッズ料理教室		
団体名	八王子地域活動栄養士会		
事業費	104,048 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>健康的な食生活をおくるには、子どものときからの食習慣が大きく関係してくる。子どもが自分自身で自分に必要な食事を選べ楽しく作れるようにまた、「食」に関心をもてるようサポートしていきたい。私達が持っている知識を次世代に伝えるとともに、このような企画を通して会のPRをしていきたい。</p>
	<p>内容</p> <p>子どもの料理教室</p> <p>子どもの時から食べ物大切さを知り、自分自身の食事バランスを理解し、調理できるようにをコンセプトにした楽しい教室。</p>

事業の活動実績	<p>7月23日(土) 7月30日(土) 子安市民センター 調理室</p> <p>参加者 23日 18名 30日 20名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍋で米をたく ・かつお節と昆布でだしをとる 	<p>2回コースで調理の基本を経験する</p>	
	<p>10月15日(土) 横山南市民センター 調理室</p> <p>参加者 11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜たっぷりカレー(さつまいも、なすなど) ・秋サラダ(柿、ブロッコリー、レタス) ・ヨーグルトシェイク 		<p>・市販のカレールーを使わずに、子どもが好きなカレーを作る</p> <p>・季節の野菜をできるだけ多く取り入れ、野菜をたくさん食べる献立にすると共に季節感をだす</p> <p>・毎回 試食後に3色食品群をもちいて食事バランスの話をする</p>
	<p>12月10日(土) 川口市民センター 調理室</p> <p>参加者 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜たっぷりカレー(大根、れんこんなど) ・冬サラダ(ごぼう、大根など) ・ヨーグルトシェイク 		
	<p>3月10日(土) 南大沢生涯学習センター 調理室</p> <p>参加者 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜たっぷりカレー(新じゃがなど) ・カラフルサラダ(春キャベツ、パプリカ) ・ヨーグルトシェイク 		



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>7月の2回コースでは調理の基本である「鍋でご飯をたく」「だしをとる」をテーマに選びました。この企画を考えたのは東日本大震災の前だったのでその段階ではデモ台のみでご飯を炊くことになっていました。しかし震災を受けてテーマのコンセプトを少し変え、子ども達にも実際に鍋でご飯を炊いてもらうことにしました。デモ台ではステンレス鍋で卓上コンロを使用して炊きましたが、各班ではガスコンロを使用し土鍋、ホウロウ鍋、文化鍋でご飯を炊きました。湯気の出かた、その時々音の変化、臭いなどを子ども達だけではなく、横で見学していた保護者の方々にも実感していただくことができました。</p> <p>料理教室はメインになる講師の他に、各班に1名の担当者がつきます。調理時に気をつけなければいけないことや器具の使い方などはその場の状況で判断し対応します。包丁をもったことがない子どもも必ず何かを切る経験をし、盛り付けは個々の独創性を生かし、そして後片付けも自分達で行います。1度目は見学していた保護者の方が2度目は送迎のみという方も多く、アンケート結果からも教室の内容を理解していただけたと思います。また、子ども達のアンケートでも「自宅でもつくる」という回答が多く、家族間で「食」の話題がふくらむことを期待します。</p> <p>試食後は、3色食品群を利用して栄養バランスの話をしします。小学校での家庭科の授業は高学年になってからのようですが、幼稚園・保育園などで学んでいる子ども達も多く、質問に対して低学年の子が大きな声で答えているのが印象的でした。幼稚園・保育園で学んだ「食育」を途切れさせずこのないようにお手伝いできたらと思います。</p> <p>参加者数は実施回数5回でのべ65名。7月は夏休みの自主研究の課題として申し込まれた方も多く、定員16名を2~4名オーバーしました。会場の子安市民センター調理室が広く全員受け入れることができほっとしました。その後の3回は定員になることはなく、6名~11名の参加者数でした。広く多くの方々に事業内容を知ってもらうためにはどのような方法、行動をとる必要があるのかが今後の課題として残りました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた 1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について 1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 参加者が予定数より少なかったこと、クリエイトホール調理室が使えなかったことなどにより収入、支出(会場借上料・使用料、材料費など)ともに多少の誤差がでている。
	その他、評価すべき点等 多くの参加者、保護者からのアンケートなどをおしていろいろ意見を聞くことができ、今後の参考資料となった。認知度を高めるといことに関しては、もっと積極的に行動すべきだったと思う。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

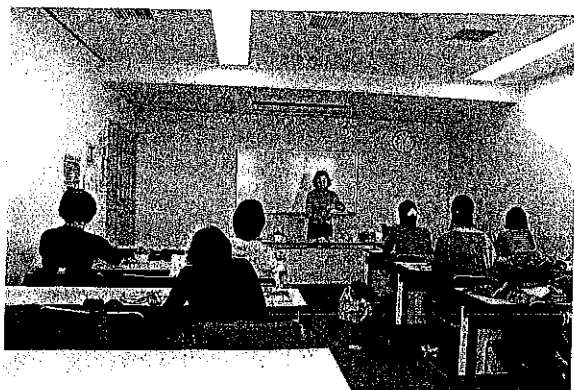
今後の事業展開	<p>料理をとおして「食」に関心をもってもらえることは実感したので、今後は広く多くの人達にこの事業を知ってもらえるように努力する。例えば、地子連や自治会などヘチラシの回覧をお願いするなど。</p> <p>受講した小学生の中にはもっと専門的なことが知りたいと希望する子もいるので、個々のニーズに合わせた対応を継続も視野にいれ考えていきたい。また、小学生を中心に考えながらも家族を取り込んでいけるようにしたい。同じ調理室で内容の違う2つのグループとか、子と家族(親、祖父母)が別のグループで調理をするなど。</p>
---------	---

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子育てママのための学び場<一歩踏み出して未来の私につながろう>		
団体名	グランジュette		
事業費	120,377円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 未就園児の0歳～3歳の子どもを育児している母親は子どもと向き合う時間が多く、大人同士で話をする機会が少なくなる。いつの間にか視野が狭くなり、思考が停止し、愚痴っぽくなったりすることもある。また育児ストレスから子どもやパートナーとの関係が悪くなってしまうことも多い。このような時期に創造性を発揮するためのさまざまな仕掛けを施した講座を行うことで、子どもやパートナーとの関係も良好にしたいと考えた。現在、市内で行われている子育て中の母親が対象の講座は子育てに関する講座が多く、母親のケアを対象にした講座はあまり行われていないと考えるため、この事業を企画した。</p>
	<p>事業の内容 母親のための自己啓発講座の実施。講座の対象:1歳～3歳までの子どもを育てている母親。 実施時期、時間:9月～1月 午前中。3回を託児付講座とする。 場所・・・クリエイトホール内の会議室及び和室 定員:15名 講座回数:全6回の連続講座 最終回 1月27日全体のまとめ講座</p>

事業の活動実績	<p>9月8日①子どもの発達と家族が与える影響〔託児付〕講師:新谷和代(予定・帝京大学) 10月12日②子育て世代のマネープラン 講師:太矢香苗(かな・える FP 相談室 代表) 10月24日③3年後のなりたい私に向かって講師:滝川友紀子(都立特別支援学校教諭) 11月10日④フラワーアレンジメント講座〔託児付〕講師:坂元孝子(フラワーコーディネーターBien 代表) 11月24日⑤世代間交流を行おう(講師:子供居場所プロジェクト 炭谷・八王子お手玉の会 鈴木) 12月1日⑥手作り絵本作り～講座のまとめ～気持ちをカタチにしてみよう〔託児付〕講師:大石寛子(予定・都立職業技術専門校講師) 1月27日 ⑦同窓会講座・・・(講師 おもちゃコンサルタント 横尾) おもちゃと絵本のお話最後、各々今までの講座を振り返っての発表。</p>
	<p>上記の講座を通じて本団体の活動についてPRを行った。</p>



事業の成果・効果	<p>全7回の講座を通して、受講生が個々に充実した時間を過ごすことができた。</p> <p>参加した受講生からは講座全体を通して「講座を受講したことによって生き生きと意欲的に生活できるようになった」「子どもやパートナーとの関係について考えることができるようになった」等の感想を聞くことができた。</p> <p>③⑥講座では「子育てで慌ただしい毎日だがじっくりと考えたり作品を集中して作ったりする時間の大切さに気づいた」「とてもリラックスできた」という感想を聞くことができた。</p> <p>④講座では「子育て中は毎日の生活に精一杯で『未来』や『将来』などあまり考えることができないが、講座を受講しワークショップを行うことによって『少し先の未来』について考えることができるようになった」という感想を聞くことができた。</p> <p>講座中に発言する場では、受講生は感想や自分自身の振り返りを皆の前で語る事ができた。普段はあまりない良い体験ができたようである。</p> <p>また、託児付講座は母子分離のきっかけともなったようで、回を終えるたびに、母子ともに変化があった。母親になってからの学びはなかなか一般化されていないのが現状である。今後も託児付き講座を開催する必要があると考える。</p> <p>参加した子育て中の母親が日ごろの忙しい生活の中から少しの時間、「自分を大切に過ごし今後を考える時間」を作ることができるようになったと考える。</p> <p>また、本団体の活動を講座を通じてPRすることで、これまでより多くの人に知ってもらうことができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="checkbox"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	本来の目的に合う活動が出来たように思う。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

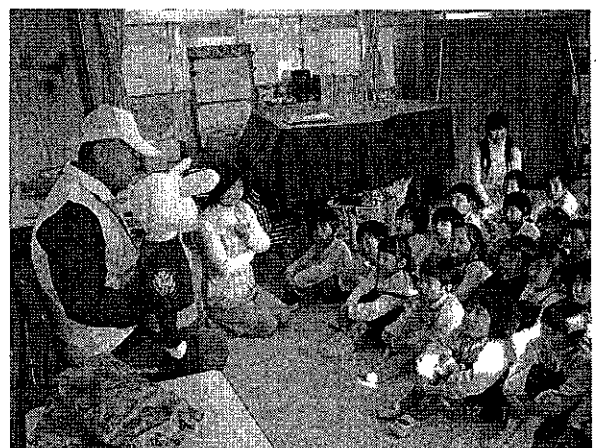
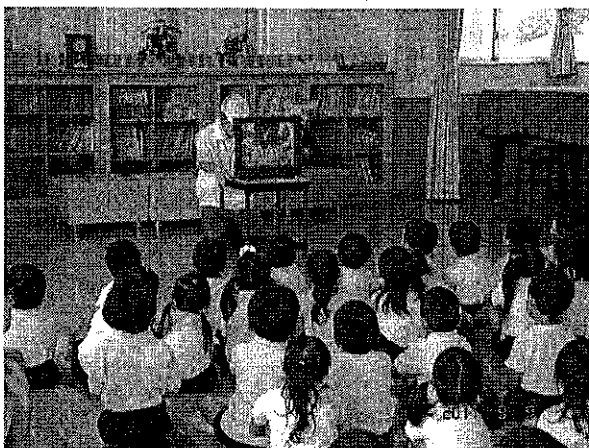
今後の事業展開	<p>当団体のアピールを図り、より多くの人に活動をしてもらい、今後の活動に参加してもらうためにも、企画・講座をしていきたい。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	幼少児童との「防火ふれあい会」				
団体名	防火支援ボランティアFOB八王子				
事業費	¥ 124,337	円	補助金額	¥ 100,000	円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>これからの「家庭や地域の防火・防災と安全・安心」の担い手となる幼少児童の防火育成がますます重要となるなかで、会員の経験や技術をいかして児童とふれあいながら防火育成の一助となるような支援活動を行う。</p>
	<p>内容</p> <p>市内の幼稚園や保育園に出向いて、消防OBが防火・防災の体験等をもとに防火人形を活用した「防災カード遊び」、「防火紙芝居」及び「防災ダックゲーム」などを行い、楽しみながら防火の心や命の大切さなどを学んでもらうと共に保護者に「家庭自主防火診断」票を配布して各家庭で自己診断を行うことにより防火・防災意識の高揚を図る。</p>

事業の活動実績	<p>1 市立保育園園長会議、私立保育園協会と私立幼稚園協会の定例会に出席して広報チラシ、開催申込み書を配布すると共に活動内容や利用方法等の説明を行った。 その他、開催日直前に打合せが必要な場合に事前打合せに出向</p> <p>2 「防火ふれあい会」の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数 24施設 (全施設でアンケートを実施した) ・参加者(児童及び職員) 2,650人 ・「家庭自主防火診断」票配布数(保護者、職員) 2,745部、 (町会等) 150部
---------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 「防火ふれあい会」は2年目の活動で、口こみ等により実施件数や参加者も多くなり、2年間で延実施件数も40施設となり好評であった。 2 本年度は東日本大震災の後、実施した各施設で地震等の災害について関心がつよく幼児からの防災育成の必要性やこれからの保育士に対する防災教育面でもよい機会となったとの評価をうけた。 3 「家庭自主防火診断」票の配布により、児童の防火育成だけでなく家庭でのライターの管理等を含め各保護者の防火・防災意識の向上に役立った。 4 実施した全施設で行っているアンケートで、幼児が興味深く見たり、聞いたり、質問したり幼児参加型で楽しみながら学べ、幼児期からの防火・防災育成の重要性を強く感じた等の感想や意見のほか、特に人形を活用した「防災カード遊び」はインパクトある活動であった。 5 この活動を通じ、当会を広くPRする事ができた。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>・「防火ふれあい会」の outgoing を会員相互の送迎等で出来るだけ車両の乗合わせにより、交通費を少なくして支出全体を縮小した。</p>
	その他、評価すべき点等	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア活動として各施設から感謝され、実施後のアンケートで人形を活用したカード遊びやゲーム等児童の立場で考えた良い企画であったとの評価もうけた。 2 不足資金を全会員からの協力金により活動が実施できたこと・

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート結果を参考に教材や実施方法などを検討して一層充実した「防火ふれあい会」として継続し広めていきたい。 2 市内全域の施設を対象としているため、幅広い各地域からの会員増加を図りたい。 3 「防火ふれあい会」を継続活動として実施するため、経費調達方法などを検討して持続可能なボランティア活動として取り組んでいきたい。
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	滝山 森のようちえん		
団体名	滝山ネイチャークラブ		
事業費	354,773円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>八王子の身近な自然を親子で体験すること。 心身共に健康で、人や自然に関わる中で、遊びを通して行う関わりの体験。 感じたり、考えたり、自分でやってみようとする。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然への気づきを促す自然体験。 ・ 自己内対話を促す挑戦体験。 ・ 関わりの中から学ぶ体験。

事業の活動実績	<p>4/17 はじめてのキャンプ</p> <p>5/22 ひとり親家庭のためのデイキャンプ</p> <p>6/19 滝山ホタレンジャー</p> <p>7/24 ブルーベリー狩りに挑戦!</p> <p>8/28 川で遊ぼう!</p> <p>9/18 マス釣りに挑戦!</p> <p>11/20 ルアー教室</p> <p>3/25 森のようちえん体験会</p>
---------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>1. 全8回の自然体験活動を実施できたこと。</p> <p>2. のべ115人(子ども52人、大人63人)の参加者が八王子の身近な自然体験活動に参加したこと。</p> <p>3. 子どもたち、及び保護者の心の内面の気づきや発見を促すことが出来たこと。</p> <p>4. 親子のスキンシップがはかれたこと。</p> <p>5. 八王子の身近な自然を紹介できたこと。</p> <p>当クラブは、親子の自然体験にこだわり、親子のふれあいやスキンシップを重視しています。それは、自然の中での感動体験を親子で共有してほしいという願いと、環境教育は親世代も巻き込んでいきたいという思い、そして親子で参加することでいろいろな方と交流し、子育ての負担感を軽減し、子育て支援につなげたいとの思いからです。</p> <p>今年はセーフティーアウトドアの普及啓発活動として、ライフジャケットを着た安全な水辺の活動も展開することが出来ました。</p> <p>また、さまざまな体験活動を通して、当クラブの活動をひろくPRすることができました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 予定より収入が減ったので、それに合わせて活動費も減らしました。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今後も継続して活動し、幼児だけの預かり保育としての森のようちえん事業を発展させていきたい。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	わら細工文化と技術の伝承		
団体名	わら細工の会 円座		
事業費	177,030円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>わら細工の技術を伝承し、次世代に伝えていく。</p> <p>活動のチラシ配布、体験講習、展示会の開催で、活動を宣伝し、参加する幅広い年代の方と物づくりを通して交流を図る。</p>
	<p>内容</p> <p>毎月2回の体験講習を開催。</p> <p>2か月毎に、わら細工の伝承意義や、製作予定、日程のチラシを作り、市の関係機関に置いてもらい会の宣伝をし、参加を促した。</p>

事業の活動実績	<p>4/9 体験講習会 9人参加</p> <p>4/20 体験講習会 11人参加</p> <p>5/21 体験講習会 14人参加</p> <p>5/25 体験講習会 6人参加</p> <p>6/8 体験講習会 10人参加</p> <p>6/18 体験講習会 14人参加</p> <p>7/6 体験講習会 11人参加</p> <p>7/23 体験講習会 9人参加</p> <p>8/13 体験講習会 5人参加</p> <p>8/24 体験講習会 7人参加</p> <p>9/10 体験講習会 13人参加</p> <p>9/21 体験講習会 6人参加</p> <p>10/8 体験講習会 9人参加</p> <p>10/19 体験講習会 10人参加</p>	<p>11/9 体験講習会 14人参加</p> <p>11/26 体験講習会 22人参加</p> <p>12/10 体験講習会 17人参加</p> <p>12/17 体験講習会 15人参加</p> <p>1/7 体験講習会 10人参加</p> <p>1/18 体験講習会 14人参加</p> <p>2/4 体験講習会 11人参加</p> <p>2/22 体験講習会 13人参加</p> <p>3/10 体験講習会 13人参加</p> <p>3/14 体験講習会 14人参加</p> <p>以上24回の体験講習を実施しました。</p> <p>・ 9/2~9/9 作品展示会 村内ファニチャーアクセスにて開催</p> <p>・ 10/4~10/14 南口市役所ポスター展に参加</p>
---------	--	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・体験講習会を毎月2回、開き続けることで認知度が高まり、リピーターが増えた。 ・2か月毎に講習日程、会場、制作予定の作品の写真を載せたチラシを作成し市の関係機関に置いてもらった。 その関係機関も、時々、選択を変えて、より多くの市民の人の目に触れるよう工夫した。 結果、チラシを見たと言って、参加する方が増えた。 ・体験講習会の参加者が平均10名を超え、会場費や材料費が賄えるようになり自立のめどが立った。 ・体験された方が、家族や友人に作品をプレゼントしたり、話すことによって先人の知恵が伝承されたと思う。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) ・事務用品などの消耗品費が低く抑えられた。 ・講師謝礼が1回の講習会に1名だけでなく、複数名の時もあったので、予定額より多くなった。
	その他、評価すべき点等	・体験講習の参加者が多く、収入が多くなった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な体験講習会の開催を今後も継続していく。 ・今後も学校、NPO団体の行事などに参加し、わら細工の技術を伝え、伝承していく。 ・出来たら、チラシ宣伝を続け、会の認知度を広げ、体験者を増やしていく。
---------	---

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	在宅医療を主題とする活動の普及事業		
団体名	めじろ台安心ねっと		
事業費	152,602円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	以前に実施した住民意向アンケートで在宅医療に関する不安が大きく、往診体制などの要望も多かった。そこで、在宅医療について啓蒙的な活動を行ったり相談活動を行うと共に、健康維持のためのウォークラリーも開催して住民の健康に関する意識の向上に努めることを目的にした。
	内容	講演会、シンポジウム開催を通じて在宅医療の適切なあり方を住民に知らせる。また定期的に医療・福祉相談を行い、個別に解決が出来るよう支援する。医師同行のウォークラリーを開催し、健康に関するアドバイスを受ける。

事業の実績	<p>4月12日・新年度の開始にあたり役員会で事業の進め方を決定。春のウォークラリー担当者、実施日等を決定。</p> <p>4月13日・昨年度に引き続き医療・福祉相談日は毎月第2、第4水曜日とし、今年度第一回目の相談を実施。</p> <p>5月8日・町会第一会館で総会を行い、会員に今年度の事業計画を発表及び懇談会を実施。</p> <p>5月10日・定例委員会にてウォークラリーは実査した結果、多摩森林科学園へ5月28日に決定。</p> <p>6月14日・定例委員会にて「見守りネットワークの形成」の要旨案検討。</p> <p>8月4日・シンポジウム内容について検討。ウォークラリー行き先を数案出し、次回決定。</p> <p>9月13日・秋のウォークラリーは11月3日に決定。行き先は担当者に任せる。各町会と会の個別説明日を検討。</p> <p>11月20日予定のシンポジウムは会場が確保出来ず、1月に実施。11月に内村医師の講演会を行う。</p> <p>10月11日・秋のウォークラリーは11月3日片倉城址に決定。11月27日に内村医師に講演をお願いする。</p> <p>11月8日・11月3日開催のウォークラリー開催結果報告。11月27日開催の内村医師講演会役割分担決定。</p> <p>11月16日・市民企画事業補助金交付団体情報交換会(八王子教育センターで開催)に青木、東の両名が参加。</p> <p>11月27日・内村医師による講演会実施。(町会第一会館にて会館優先無料使用)</p> <p>12月13日・講演会要旨を嶺氏がテープ起こしして会員に配布を決定。1月29日開催のシンポジウム役割分担決定。</p> <p>1月10日・1月29日開催のシンポジウム案内は回覧以外にも会員に配布することに決定。</p> <p>1月17日・町会第一会館2Fで四丁目町会役員と「高齢者見守り」について意見交換。(9月25日予定した分)</p> <p>1月21日・11月27日開催の講演会要旨、シンポジウム案内等会員宛封筒入れ作業。</p> <p>1月29日・健康・医療シンポジウム開催(町会第一会館にて会館優先無料券使用) 内村医師、永生会宮崎医師、嶺代表(めじろ台3丁目クリニック内科循環器科の、在宅診療の紹介あり)</p> <p>2月4日・町会第一会館2Fで一丁目町会役員と「高齢者見守り」について意見交換。(7月28日予定分)</p> <p>2月14日・シンポジウムの要旨を嶺氏テープ起こし、会員に配布決定。</p> <p>2月28日・町会第一会館2Fで三丁目町会役員と「高齢者見守り」について意見交換。(8月25日予定分)</p> <p>3月13日・今年度の事業反省、総会、来期について打合せ。</p> <p>3月27日・報告書作成、内容検討。</p> <p>3月28日・医療・福祉相談日・・・平成23年度最終日</p>
-------	--



医師同行のウォークラリー開催



在宅医療に関するシンポジウム開催

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉相談は毎月2回実施し、良い制度と評判になり、一般住民にも知れ渡って相談者も増えてきた。4月以降3月までの相談回数は23回、相談者 37人であった。 講演会では医療・福祉相談会で多い「目まいと耳なり」について相談会担当の内村逸郎医師よりその病理と対応について貴重な話を聴くことが出来た。参加者45人。(11月27日実施) ウォークラリー春、秋の2回予定したが春は当日雨で中止。秋は片倉城址へ行き、到着後内村医師より、色々と医学的な話をして頂き、知らない世界に興味津々であった。参加者 10人。(11月3日実施) めじろ台各町会(2丁目を除き)と個別に「高齢者見守り制度」について意見交換したが、大いに参考になった。 健康・医療シンポジウム開催。テーマは「めじろ台に安心できる在宅医療を！」 参加者 50人 (1月29日実施) 内村逸郎医師は「医療・福祉相談の結果から」どのようなことで相談にみえるか、また相談者に対して親身な話を聴き、納得の行くアドバイスをされていることを話された。 <p>永生クリニックで専門に訪問診療を担当している宮崎之男医師は「訪問診察と往診の活動を通じて」で訪問診療の現状、役割、問題点、患者家族の考え、永生クリニックの在宅訪問診療の概要を話された。</p> <p>今回の「在宅医療を主題とする活動の普及事業」はテーマが難しく、また深刻な面もあり、一般住民にとっては、そのときにならないと実感が湧いてこない点も多々あったが、益々高齢化する状況の中で在宅医療や、健康について考え、行動するきっかけになったのではないかと思う。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることが	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんどおなじ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2, 3と答えた場合のみ) ・年間2回予定したウォークラリーは天候の関係で1回のみで開催となった。 ・当初計画では11月にシンポジウム開催を予定したがシンポジストや会場確保の関係で1月にずれ込んだ。 ・当初、講演会、シンポジウム開催では参加費を徴収する予定であったが、有料だと参加者が減るのではないかと意見で無料にした。 ・各種印刷は外部でコピー等行うよりも能率的で、費用も安いので個人のプリンターを利用して行った。
	その他、評価すべき点等	講演会、シンポジウム開催や医療・福祉の定期的開催、町会役員との打合せ、回覧等を通して「めじろ台安心ねっと」組織の住民への認知度が上がった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 益々高齢化する状況の中で、他の組織と連携を保ち、高齢者対策の輪を少しでも広げて行きたい。 「めじろ台地域の住民が高齢期においても、安心・安全・快適に暮らして行ける」ような条件を検討し、その実現に向けて講演会の開催や医療・福祉相談も引き続き行い、活動して行きたい。 町会とも密接に連携を保ち、高齢者の見守り方法を模索して孤独死等の発生しないよう取り組んで行きたい。
---------	---

平成 23 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	親子で楽しむ陶芸教室		
団体名	特定非営利活動法人 発達支援の会—未来		
事業費	125,000円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>粘土をこねて作品を作る作業が、子どもたちを楽しませ、親子のコミュニケーションにもなり、楽しい時間を過ごして欲しい。</p> <p>なかなか理解されにくい発達障害児とその家族を支援する目的で、継続して行うことがより良いと考え三年目(補助金事業としては二年目)を迎えた。</p> <p>この事業を通じて、当会の活動を知ってもらおう。</p>
	<p>内容</p> <p>幼児から中学生までの子どもが親子で参加し、講師の指導のもとに直接粘土にふれ、その心地よさを味わい、想像力を養う。</p>

事業の活動実績	<p><第1回> H23. 7. 24</p> <p>午前の部：8家族24名参加 午後の部：8家族16名参加</p> <p>板で粘土を挟み足で踏んで粘土を板状にしてから、好きな形の器（紙皿など）に粘土をあてがい形を整える。そこに、外で拾った葉っぱを押し付けて模様をつけたり、布を押し付け、布目模様をつける。</p>
	<p><第2回> H23. 10. 23</p> <p>午前の部：9家族25名参加 午後の部：8家族25名参加</p> <p>粘土を丸い御団子状にしてから、親指で中心に均等に穴を開けていき側面や底が均等な厚さになるまで指、手全体を器用に使って好みの形の器を作る。</p>
	<p><第3回> H24.. 2. 19</p> <p>午前の部：9家族21名参加 午後の部：9家族15名参加</p> <p>小鉢を作り、染料で色付けしたり、絵柄を描く。</p>



事業の成果・効果	<p>今回で三年目(補助金事業としては二年目)を迎えた陶芸教室ですが、初回から参加している方、今回が初めての方と参加回数は様々です。</p> <p>回数を重ねて慣れている親子は、自分の作りたい物への想像をめぐらし、講師の方へ自ら要望を伝えて意欲的に制作していました。</p> <p>また、経験の浅い親子も粘土の感触を楽しみ好きな形にこねあげて楽しそうに取り組むことができました。</p> <p>全体的に講師の方の親切で穏やかな指導が、会の雰囲気をやかにして、親子でほっとできる空間、時間を過ごせました。このことが、当会の目指すものであり、参加者から回数を増やして欲しいなどという要望が聞かれました。</p> <p>陶芸は粘土をこねて自分が納得いくまで形を何度も修正できる良さがあります。また、焼いてみると粘土状のときとはまるで違う姿になり素晴らしい一つの作品として喜びや自信につながっています。当会では、このようなちょっとした喜びや自信の積み重ねが、日々の生活にとっても大切なことだと考えています。</p> <p>補助金対象事業に採択された際に、「新規の参加者を得るため関連団体との連携を模索すること」と意見が付されましたが、今年度は新たに、みどり幼稚園(裏高尾町の保育施設)に参加を呼びかけ新規の参加者の獲得に努めました。</p> <p>市民企画事業補助金を頂きこのような事業ができたことに大変感謝しております。そして当会の今後の活動に大変役立つものになりました。ありがとうございました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 今後の事業展開を考え、当初 1,000 円/1 組を予定していた参加費を、1,500 円/1 人として実施した。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>親子で陶芸を楽しめる機会、場所はほとんどないため、多くの方から回数を増やしてほしいという要望があります。陶芸は回数を重ねるごとにその楽しさが増すため継続してこの事業を行っていきたい。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	楽しい介護予防の音楽セミナー		
団体名	八王子音楽療法研究会		
事業費	324,824円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 八王子は高齢者が多いです。この地域の中で、まだまだお元気で過ごしていただくには「心と身体の活性化」が必要です。それには介護予防に「高齢者の音楽療法」がピッタリであることを、今までのセッションの経験より強く感じます。ここに「脳の活性化」を目的に、また、当会のPRのためにこの講座を開催しました。又、「リーフレット」を作ることで、会へのPRも行いました。</p>
	<p>内容 「楽しい介護予防の音楽セミナー」(高齢者の音楽療法)のセミナーを開催しました。内容は「講話と実践」を行います。「講話」は「高齢者の心身の機能」について医学的、心理学的、福祉学的に分かり易く話、「実践」は歌、楽器、手話、手遊び、軽い運動、車いす用民謡、ゲーム、トーク等、施設、病院にて楽しく行いました。</p>

事業の活動実績	<p>「楽しい介護予防の音楽セミナー」</p> <p>4月16日(土) 1.「高齢者の施設と費用」 2.「憩いの音楽」高齢者の音楽療法より</p> <p>5月21日(土) 1.「介護予防になぜ音楽がよいか」 2.「内容、方法とは」講話と実践</p> <p>6月18日(土) 1.「介護予防と笑い」<頭をほぐして脳内リセット> 2.「活性化を高める音楽」歌と民謡</p> <p>7月～8月にかけて 1.「現場に学ぶ」見学、実習、反省会：実習の心得を良く学び行う。</p> <p>9月17日(土) 「介護予防と楽しい音楽作り」、高齢者の歩んだ時代背景と歌の関わり</p> <p>10月15日(土) 1.「介護予防における医学について」 2.「憩いの音楽」手話と手遊び</p> <p>11月19日(土) 1. 介護予防の音楽の広がり；音楽と絵画(コラージュ療法について)</p> <p>12月17日(土) 1. 高齢者の福祉について 2. クリスマスの集い 3. バザー</p> <p>1月21日(土) 1.「リクレーションと音楽」話と実践 2.「正月の遊び」百人一首、福笑い</p> <p>2月中 1.「現場に学ぶ」見学、実習、反省会</p> <p>3月19日(土) 楽しい介護予防の音楽3期のまとめ ①研究の成果②有効性③今後の研究の方向 述べて246人の参加がありました。</p> <p>リーフレットは1,000部作成し、PRに活用。</p> <p>本事業とは別に会独自の活動として、平成23年中、福島県相馬市へ、平成24年中は八王子市にて被災者の皆様に励ます音楽療法を行いました。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>1. 介護予防の音楽を行うことにより、孤独で家にいた老人も変って来たと言われました。それは種々の音楽療法により、まず性格が明るく開放的になり、友人が出来て話をするようになりました。これは一大成果だと思います。今後はより多くの人に、この利点を広め、コミュニケーションを高めて、老後を楽しく生きて欲しいと思います。</p> <p>2. 参加者の感想文より</p> <p>A. 毎月大変有意義な講義で、私の知らない世界だったので、とても充実した時間です。手話や手遊びも楽しみながら、脳の活性化にもなり、介護予防になり、良い勉強をしました。</p> <p>B. 今まで音楽は聞くだけと思っていましたが、OT, PT, STなどの内容もプラスされていると思います。そこに奥深さを感じます。もっと自己啓発をしなくてはと思います。</p> <p>C. 私もこれから行く道、そんなに速くないので感無量です。</p> <p>D. 音楽療法は単なるリクレーションとは違い、こんなに心を奥深くまで開放し豊かな気分にしてくれるとは知りませんでした。できたらこの研究をしていきたいと思っています。</p> <p>E. 先生の一言一言で利用者の表情、動作が変化していくのが不思議でたまりません。私も母の介護のため、もっともっと研究していくつもりです。教えて下さい、頑張ります。</p> <p>F. 実習が大変楽しく勉強になり、私もこの道に学ぼうと将来を決めました。よろしくご指導下さい。</p> <p>3. 音楽療法の有効性を理解され、八王子市の社会福祉協議会の紹介にて平成 23 年 9 月には福島県相馬市へ被災の人々への支援に、平成 24 年 2 月には八王子へ行らした被災の人々への励ます会(八王子市主催)に音楽療法を楽しくやらせていただきました。大変喜ばれ「又、ぜひ来ておくれや」そんな言葉に、後ろ髪を引かれました。</p> <p>この講座、リーフレットを通じて会のPRができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた。	①. できた 2. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. 殆ど出来なかった ----- 主な理由(3 と 4 と応えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果を挙げる事が出来た。	①. できた 2. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. 殆ど出来なかった ----- 主な理由(3 と 4 と応えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について。	1. 殆どおなじ ②. 多少の変更があった 3. 大幅に変更している ----- 主な理由(2 と 3 と応えた場合のみ) 「お知らせ」として発送した印刷物が好評にて毎月発送したので、この紙代、印刷代が以外に多くかかった。
	その他、評価すべき点等。	感想文やアンケートにもありましたが、利用者様(施設、病院)や、活用している本人、家族に、効果があるので、更にやっていきたいと、参加者からの事業継続の声は多いです。

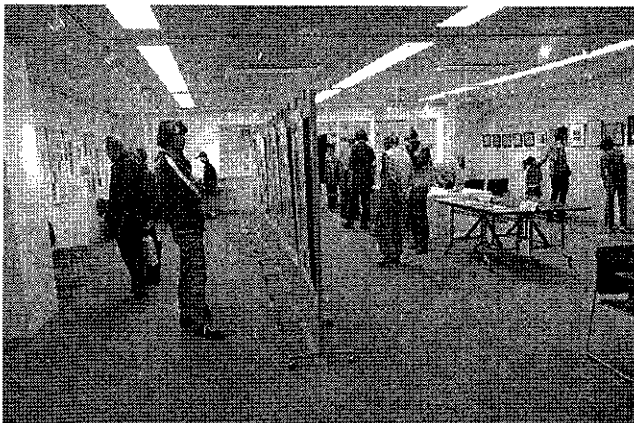
今後の事業展開	<p>1. 介護予防の音楽(高齢者の音楽療法)の有効性とは次の4つに効果を求めています。</p> <p>(1) 健康保持と疾病や障害の予防 (2) 心身の機能改善 (3) Quality of Life の向上 (4) 治療プロセスへの実践(医学における)です。</p> <p>2. ここに高齢者、障害者(児童)の人達が、人生を楽しく明るく過ごせるように、この音楽療法を通して有効性を広めていきたいと思っています。そのためにも、もっと一般の人に理解していただけるように、出前音楽療法、出張音楽療法の方法を行います。又後継者の養成と、事業の発展に、微力ながら努力していきたいと思っています。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	浅川流域の野鳥保護に関する啓発事業		
団体名	八王子・日野カワセミ会		
事業費	974,663円	補助金額	487,000円

事業の目的・内容	<p>目的 カワセミ会が浅川流域で20数年間行ってきた野鳥調査によれば、流域で見られる野鳥の種類数、個体数とも減少しています。このことを市民に発信し、野鳥が来る浅川や野鳥と人間が共生するにはどうすればいいか、カワセミ会調査結果などをもとに野鳥の住む環境を考える機会をつくる。また、浅川野鳥カルタや電子図鑑を作製し身近な野鳥を知るきっかけを作る。</p>
	<p>内容 八王子・日野の野鳥展を開催し、身近な野鳥の現状を発信し、野鳥保護を訴える。</p> <p>① 20数年間蓄積した野鳥調査の結果を分析し、現状をパネルなどで展示する。②八王子・日野市内の東京都指定緑地保全地域における野鳥の生息調査報告書を作製するとともにパネル化して展示する。③浅川流域の野鳥の写真や情報を電子化し浅川野鳥図鑑を作製しカワセミ会HPに掲載するとともに野鳥展会場で紹介する。④浅川野鳥カルタを作製し展示販売するとともに市民カルタ大会を開催する。</p>

事業の活動実績	<p>① 野鳥展 9月中旬開催を目標に、学園都市センター展示場の確保に努めたが、くじ運悪く毎月外れが続き、やむなく11月に北野市民センター展示場を確保し開催した。 開催期間；11月1日～6日 6日間 場所；北野市民センター展示場 展示物；調査結果から浅川の野鳥の現状、身近な野鳥のくらしを中心に紹介した。 A ゼロ版パネル27枚 野鳥の古巣を収集し実物を展示した。(展示後の古巣は八王子市こども科学館に寄贈した。)</p> <p>② 緑地保全地域の野鳥生息調査の報告書とパネル展示 野鳥展ではパネル4枚を展示した。報告書は、野鳥展開催が11月になったので、発行を1月に延期して作製し(28ページ)関係機関、自然保護関係者に配布した。</p> <p>③ 浅川流域の野鳥電子図鑑 予定通り作成しHPに掲載した。誰でも何時でも利用できる。</p> <p>④ 野鳥カルタは、市民から募ったカルタの読み札の句、会員から募集した絵札の写真の収集など計画通り進んだ。野鳥展に併せ11月に完成し販売を始めた。また、市民カルタ大会も野鳥展と同時に開催した。</p> <p>⑤ 広報活動 野鳥展、カルタ大会ともポスター1,500枚作製し八王子・日野市の全市民センター、各小学校、児童館に配布展示していただいた。また、市の広報やHPに掲載するとともに各マスコミ、関係機関・団体、会員の知人・友人に案内状を送り宣伝した。</p>
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>・野鳥展；6日間開催し、パネルAゼロ版27枚、電子図鑑のデモ、野鳥カルタ、野鳥の写真などを展示した。期間中の入場者数；600数十名に達し盛況であった。入場者のアンケートでは展示物等の内容に関心を示す記載の回答が約100件（回収数250件）あり「カモが激減しているデータにショックを受けた。」「野鳥の種類が多いのに驚いた。」「野鳥をとりまく環境が年々悪化していることがよくわかった。」。古巣の展示を見て「荷造りヒモなど人間が使うものを使用しているのに驚いた。」「野鳥の巣を直で見たのは初めてです。」等々の反応があり、身近な野鳥の現状をPRできた。また、展示物に関しては「地域の人々にも見せてほしい、小学生たちにも巡回展示したらどうか。」「次回は放射線通りで開催してほしい」等の提案をいただいた。</p> <p>・緑地保全調査報告書；印刷物は340部作成し関係機関、団体、自然保護に関係する個人に配布した。野鳥展ではパネル4枚にまとめ展示報告した。その反応は（アンケートより）、「手を入れすぎるところもあり緑地が心配です。」「定期的にモニタリングしながら環境管理にフィードバックしてほしい。」「人も野生生物も共存できる場所にしてほしい。」「どこに保全区域があるかわからない、もっとPRしてほしい。」など多数の意見が寄せられた。</p> <p>・浅川の野鳥電子図鑑；カワセミ会が八王子・日野市内で確認した野鳥約200種の内、131種を約300枚の写真データを使用し解説した。2012年1月1日から一般公開し、誰でも何時でも検索使用できるシステムとした。</p> <p>・野鳥カルタ作製及びカルタ大会；浅川野鳥カルタを280箱作製し、図書館、児童館などの公共機関などに配布するとともに市民向けに販売した。「カルタの内容に感動した。環境教育などに活用し、野鳥の住む環境の意義などPRしてほしい。」「絵がきれいで、野鳥が好きになった。」など評判がよく、平成23年度中に約180部を販売。現在では贈呈用等を除く、予定の240箱売れ完売した。また、カルタ大会は、小学生や幼稚園児20名が参加した。「絵がきれいで、とても楽しかった。」「また参加したい。」「幼稚園児の母親ですが、大会参加後は、鳥を見つけてはカルガモだ、コサギだ、ヒヨドリだ、トビだ…と教えてください。」</p> <p>「カタカナも読めるようになりました。」などの評価をいただいている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	○1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ○2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） ・事業実施にあたり、手作りや内容の精査など創意工夫により安価で執行できたため。
	その他、評価すべき点等	・補助金の利用により、良いパネル、カルタを作製することができ好評であった。 ・事業全体を通して、組織的に取り組み、計画通り遂行できた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>・野鳥展；八王子・日野市内における野鳥調査を継続し、野鳥保護、野鳥の住める環境づくりに協力するとともに5年後の開催を目指す。</p> <p>・緑地保全調査報告書；継続的なモニタリングを目指す。</p> <p>・浅川野鳥図鑑；暫時更新し充実させる。また、同図鑑の英語版も作製中である。</p> <p>・カルタ；八王子市環境フェスティバルや会主催のイベントなど機会あるごとにミニカルタ大会などで活用する。</p>
---------	---

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高齢者向け出張箱庭体験事業		
団体名	カウンセリングスペースまてりあ		
事業費	208,130円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>高齢者は老化や病気のために、言語表現能力や認知能力が低下しがちで、外出が困難な方も多い。そういう方々のために気軽に創造的な表現ができる箱庭療法を体験して頂きたい。そのためにはこちらから出向いていく出張箱庭というスタイルが最適と企画した。八王子市は老人ホームやデイケア施設など高齢者施設を多く抱えているので、需要も多いと思われる。また、今後の自立運営のための広報活動として市民イベント、地域のコミュニティのイベント等にも出張する。</p>
	<p>内容</p> <p>高齢者を対象に、箱庭療法を体験してもらうことを目的とし、こちらから箱庭セット一式を持参、出張する事業。</p>

事業の活動実績	<p>4月 デイサービス、老人ホーム等高齢者施設の把握。 高齢者向け集合住宅センティ富士森に広報活動。</p> <p>5月 高齢者施設スタッフ対象無料箱庭体験会(1名)。 チラシ作成、配布。箱庭ミニチュアパーツの選定、購入。</p> <p>6月 南大沢、堀之内各包括支援センター、老人ホーム「ファミリーイン堀之内」に広報活動。</p> <p>7月 チラシ作成、配布。片倉、めじろ台各包括支援センターに広報活動。</p> <p>8月 多摩軽費老人ホームに広報活動(2回)</p> <p>9月 高尾、長房の各包括支援センターに広報活動。無料箱庭体験会(1名) 多摩軽費老人ホームへ出張公開講座&箱庭体験(50名)</p> <p>10月 無料箱庭体験会(2名)。長沼包括支援センター、デイサービスひだまりの家に広報活動。 東京高専サイエンスフェスタ出張箱庭(46名)</p> <p>11月 無料箱庭体験会(1名)。いちょう祭りわくわく広場出張箱庭(2日間 63名)</p> <p>12月 無料箱庭体験会(4名)。デイサービスみんなの広場へ出張箱庭(13名)。</p> <p>1月 無料箱庭体験会(2名)。みなみ野市民グループ箱庭体験(7名)。</p> <p>2月 無料箱庭体験会(2名)。デイサービスうららへ出張箱庭(20名)</p> <p>3月 老人ホーム白楽荘へ出張箱庭(30名)</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>今回の事業を実施していくにあたって、まず高齢者施設の実態、需要を知る、ということが大切だと痛感した。実際にこちらから施設を訪問したり、無料体験会に来て頂いたりして、施設スタッフの方々とお話し、初めて知ることも多く、高齢者向けにはどういう形態が最適かを模索するところから始める必要があった。高齢者施設はどこでも、提供するサービスがマンネリ化しやすいので、箱庭体験という目新しいものに対して、興味を示して頂いたが、人手不足で多忙なため、話し合う機会を持つのが難しいという面もあった。実際に出張箱庭をさせて頂いた施設では、いずれも大変喜んで頂いた。足が不自由な方も少なくないので、一般の箱庭体験会とは違う形式を取らざるを得なかったが、それでもさまざまなミニチュアを手に取り、みんなで和気あいあいと制作しておられた。出来上がった作品と作られた方を一緒に写真に納めて、その場で差し上げると、これも大好評で、高齢者の方にとって、記録に残すということがまた格別の意味があると改めて知った。箱庭がどんなものか一般にあまり知られていないので、チラシなどの配布では反応が薄く、やはり実際に見て、体験して頂くことが一番と感じた。その点、東京高専サイエンスフェスタといちよう祭りは貴重な広報の機会で、その後のオファーにつながった。高齢者と一口に言っても、体力、知力にかなり差があり、臨機応変な対応が必要だったが、それぞれのレベルで、箱庭体験を楽しんで頂けることができたと思う。今後、箱庭療法を様々な年齢層の方々にさらに広めていくために、今回の事業で学んだことは貴重であった。</p> <p>本事業が補助金交付事業として採択された際、「受益者負担の検討を」と審査委員会より要望を頂戴した。これを受け、今年度事業を行いながら模索した所だが、高齢者施設は財政的に厳しい所が多く、有償事業となると、難しいと感じ、今年度は無償で実施させて頂いた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 出張箱庭の派遣人数を当初8名で計画していたが、行ってみると、施設スタッフの方々のサポートがあり、より少ない人数でも大丈夫だったので、謝金として出す分が減った。一方、写真は想定以上にたくさん撮る必要があり、インク代、用紙代などがかさんだ。
	その他、評価すべき点等	実際に高齢者施設の利用者、スタッフの方々と知り合えて、団体としても学ぶことが多かった。また、他の市民団体との連携の必要性を感じたので、今後の活動につなげたい。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>高齢者施設で有償事業として発展させるのは難しいため、規模を縮小して無償での出張箱庭体験は継続する予定である。今後は高齢者施設に限らず、視野を広げ、地域で活動している他の市民団体等と連携していくことで、新しい活路を開いていきたい。今回の市民企画事業に参加したことで、他団体と繋がりができたことは貴重であった。地域で何が必要とされているのか、それぞれができることを提供しあってコミュニティを繋いでいく、そのコミュニケーションツールとして、箱庭が活用できると考えている。</p>
---------	---